

# 交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本 NO, 33 2021年 4月4日

4月2日、申3号「中野電車区における運転士見習配属数に関する緊急申し入れ」の支社回答・交渉を行いました。

《申3号 申し入れ内容、支社回答》

1. 2021年3月中野電車区に配属となる運転士見習数を減ずること。  
*配属については配属個所と調整のうえ決定しており、見直す考えはない。*
2. 新型コロナウイルス感染予防の観点から「共通・共有スペース」でのソーシャルディスタンスを確保すること。  
*引き続き、感染予防に取り組んでいく考えである。*
3. 新型コロナウイルス感染予防の観点から「共通・共有スペース」などでのソーシャルディスタンスに関する職場における指針を示すこと。  
*東京支社危機管理本部指示に則り取り扱っている。*
4. 新型コロナウイルス感染予防の観点から必要な物資は滞りなく配備・補充すること。  
*引き続き、必要な対応は行っていく考えである。*
5. 各泊地において社員一人に一部屋の寝室を確保すること。  
*現状で対応されたい。*
6. 職場における双方向コミュニケーションの質を高め、安定・安全輸送遂行に役立てること。  
*引き続き、風通しの良い職場風土を醸成していく考えである。*

## 私たちの主な主張

- ・30名を超える要請は可能なのか？支社総体での養成数は？
- ・「配属者数」を決定した根拠は何か？庁舎や詰所のレイアウト変更は現場と検討したか？
- ・“40名”を超える新たな配属者となる職場の予算は増えるのか？
- ・今回の養成にかかわる予算はどれくらいか？
- ・養成の過程で乗務員室に6名以上入り、“密”がつくられている。
- ・支社の推奨しているソーシャルディスタンスは？
- ・職場の共有スペースで配属者増による“密対策”が不十分である。
- ・寝室は一人部屋を確保するか？検証・丁寧な対応を望む。

離れよう



新型コロナウイルス感染症の  
拡大防止のため  
間隔をあけて  
お並びください。

Please keep a distance from each other.

## 支社主管部の主な主張

- ・現場と相談して配属数を決定した。減ずる考えはない。支社総体の養成者数は129名。
- ・養成者を受け入れる職場の判断。レイアウト変更なども相談があった。
- ・養成に関して、職場の予算のプラスは考えていない。
- ・“密”に関しての意見は承った。“間隔”より詰所などでは“換気”が有効だと考える。
- ・東京支社危機管理本部指示第256号に則っている、概ね1m～2mの間隔。
- ・寝室は各泊地で一人部屋を確保する。何がベストか考えながら取り組んでいく。



## ☆交渉に参加して☆

40名の新たな配属があるにも拘らず“予算措置”も講じない、支社の定めた指針に沿った“ディスタンス”も守れていない、養成上の“密”対策も不十分が現実です。「職場が大丈夫と言っている」が支社主管部唯一の拠り所だと感じました。より良い職場を創造するために更に取り組みを進めます。